

すずむし

NO. 119

Aug. 1984

倉敷昆虫同好会

岡山県におけるキマダラヒカゲ属の分布資料

織田 明文*

I はじめに

日本産キマダラヒカゲ属には、サトキマダラヒカゲ *Neope gaschkevitschii* Ménétries 及びヤマキマダラヒカゲ *Neope niphonica* Butler というきわめて酷似した2種が含まれていることを、高橋が指摘して^{1,2)}以来、全国各地で記録の再検討と両種の分布調査が進められているが、残念ながら岡山県ではこれら両種についての報告は多くない。

そこで、まず県内における両種の分布や生態についての具体的な資料の集積が必要であると考え、所蔵標本の検討や県下全域にわたる分布調査に着手した。

今回は、とりあえず両種の分布がある程度把握できたので、1983年までの調査結果をまとめ、今後の基礎資料とするため報告する。

なお、調査は継続して行い、岡山県全体の一応のまとめができた段階であらためて発表したい。

この報告にあたり、調査に全面協力をいただいた本会々員の中村具見氏をはじめ、尾陶啓吉、近藤要一、安井茂夫、渡辺和夫の諸氏、そして貴重な標本や資料を提供していただいた安東瑞夫、大屋厚夫、風早保男、難波通孝、広瀬正明の諸氏には厚くお礼申しあげる。

II 分布資料

文献により既に報告されている産地及び筆者らの調査と同好諸氏から寄せられた両種の産地を市町村別に整理すると次のとおりである。

ここで報告する記録は、採集地（採集地の標高）、個体数、採集年月日、採集者の順に記した。また、文献記録はデータ右肩にその記録を引用した文献番号を示した。なお、採集者名は次のとおり略記した。
安東瑞夫(M.A)、大屋厚夫(A.Oh)、尾陶啓吉(K.O)、

織田明文(A.O)、風早保男(Y.Ka)、近藤要一(Y.K)、中村具見(T.N)、難波通孝(M.N)、広瀬正明(M.H)、安井茂夫(S.Y)、渡辺和夫(K.W)（アイウエオ順）

1 サトキマダラヒカゲ

〔阿哲郡〕

哲多町大山(550m)	1♂	2. VIII. 1977	T.N
矢戸川上(330m)	1♂	3. V. 1983	T.N
蚊家本村(360m)	1♂	3. V. 1983	Y.K
神郷町上油野(460m)	1♂	21. V. 1978	S.Y
下油野	6♂4♀	23. V. 1980 ³⁾	
油野重藤(460m)	1♀	15. V. 1982	K.W
下神代湯舟(270m)			
	4♂1♀	3. IX. 1983	A.O

大佐町大佐山(970m)	1♂	30. VII. 1983	T.N
矢田(390m)	4♂2♀	30. VII. 1983	A.O

哲西町日長谷(600m)	2♂3♀	3. IX. 1983	A.O
上神代右原(350m)			

矢田(390m)	1♂2♀	3. IX. 1983	A.O
----------	------	-------------	-----

〔新見市〕

草間	1♀	10. VI. 1975 ⁴⁾	
草間大原(430m)	1♂	14. VII. 1977	A.Oh

草間切畠(380m)	1♂1♀	15. VIII. 1982	T.N
(280m)	1♂	20. V. 1983	A.O

草間老能(400m)	2♂1♂	20. V. 1983	A.O
千屋花見	1♀	8. VII. 1981 ⁵⁾	

(650m)	1♂	13. VII. 1983	Y.K
法曾中野呂(390m)	1♂	15. VIII. 1982	A.O

(230m)	2♂	3. V. 1983	Y.K
西方布原(230m)	1♀	4. V. 1983	T.N

土橋氏名戸(430m)	1♂	30. VII. 1983	T.N
(真庭郡)			

八束村土長田(490m)	1♂	17. VII. 1969 ⁶⁾	
塩釜(520m)	2♂	20. VIII. 1970 ⁷⁾	

* 〒701-12 岡山市佐山2105-9

下蒜山～中蒜山	1♀	20. VII. 1970 ⁵⁾	[英田郡]
下蒜山(830m)	1♀	26. VII. 1972 ⁵⁾	河井 19. VI. 1959 ⁶⁾
中蒜山(800m)	1♂	26. VII. 1972 ⁵⁾	英田町福本(60m) 8. V. 1975 T.N
上蒜山槍ヶ峰(1000m)	1♂	14. VII. 1971 ⁵⁾	タタ 3♂ 10. V. 1981 K.W
タタ	1♂	26. VII. 1972 ⁵⁾	タタ 1♂ 3. V. 1982 S.Y
新庄村四十曲峠(750m)	1♀ 1.	VII. 1976 K.O	タタ 1♀ 7. V. 1983 A.O
タタ 高下(570m)	1♂ 14.	VIII. 1980 S.Y	タタ 福本天神谷(50m) 1♀ 10. V. 1981 K.W
落合町関塙滝(250m)	1♂ 1♀	23. VIII. 1980 T.N	東粟倉村後山山麓(650m) 1♀ 20. VI. 1982 T.N
タタ	1♂ 2.	VIII. 1982 S.Y	西粟倉村篠津(280m) 4♂ 1♀ 27. VIII. 1983 A.O
タタ	1♂ 18.	VIII. 1983 K.O	大原町古町(240m) 1♂ 1♀ 27. VIII. 1983 A.O
勝山町上(360m)	1♂	24. VIII. 1980 S.Y	タタ 立石(200m) 2♂ 2♀ 27. VIII. 1983 A.O
タタ 月田(260m)	1♂ 4.	V. 1982 S.Y	作東町小の谷(170m) 1♂ 27. VIII. 1983 A.O
タタ 寺河内(350m)	1♂ 8.	V. 1983 A.O	タタ 岩辺(160m) 1♂ 2♀ 27. VIII. 1983 A.O
川上村本茅部(600m)	1♂ 1♀	5. VIII. 1982 A.O	美作町平福(110m) 1♂ 3♀ 27. VIII. 1983 A.O
タタ タタ	1♀ 9.	VII. 1983 A.O	タタ 巨勢畠沖(90m) 1♂ 2♀ 27. VIII. 1983 A.O
タタ 鄭原(630m)	1♀ 15.	VIII. 1982 S.Y	タタ 巨勢下倉敷(80m) 1♀ 27. VIII. 1983 A.O
タタ 上福田(490m)	1♀ 13.	VIII. 1983 A.O	[川上郡]
久世町草加部(180m)	1♂ 15.	V. 1983 A.O	成羽町佐原 1♂ 20. V. 1962 ⁶⁾
美甘村田口(350m)	1♀ 28.	VIII. 1983 T.N	タタ 上日名熊谷(180m) 1♂ 7. VI. 1981 M.H
湯原町種金ヶ原(510m)	1♂ 1♀	28. VIII. 1983 T.N	川上町弥高山(620m) 1♂ 29. VIII. 1977 T.N
中和村津黒(570m)	1♀ 28.	VIII. 1983 T.N	タタ タタ 1♂ 20. VIII. 1982 T.N
[苦田郡]			タタ タタ 1♂ 21. VIII. 1983 Y.K
阿波村大高下	1♂ 29.	V. 1977 M.N	タタ 下大竹(220m) 2♂ 1♀ 22. V. 1982 A.O
加茂町原口志田(400m)	1♀ 26.	V. 1978 A.Oh	タタ 高山(450m) 1♂ 1♀ 4. VI. 1983 T.N
上齊原村恩原(750m)	1♀ 20.	VII. 1980 K.O	備中町津々羅(630m) 2♂ 28. VIII. 1982 T.N
鏡野町角ヶ仙山麓(720m)	1♂ 20.	VII. 1980 T.N	タタ 安田(560m) 1♀ 28. VIII. 1982 T.N
タタ タタ (750m)	1♀ 16.	IX. 1982 K.O	タタ 西山六日(540m) 1♂ 3. IX. 1983 A.O
タタ 越畑(560m)	1♀ 6.	IX. 1982 A.O	[高梁市]
タタ 真経(250m)	1♀ 20.	VIII. 1983 A.O	臥牛山 1♂ 15. V. 1949 ⁶⁾
タタ 小座(180m)	3♂ 2♀	20. VIII. 1983 A.O	タタ 29. VIII. 1966 ⁶⁾
富村富西谷大倉(400m)	1♀ 16.	V. 1982 K.W	松原町松岡(420m) 1♂ 20. VIII. 1982 T.N
タタ のとろ原(660m)	1♂ 2♀	24. VII. 1983 T.N	タタ 松岡中筋(460m) 1♂ 28. VIII. 1982 A.O
奥津町井坂(290m)	1♂ 1♀	20. VIII. 1983 A.O	タタ 松岡西野呂(460m)
タタ 久田下原(200m)	2♂ 1♀	20. VIII. 1983 A.O	3♂ 1♀ 12. V. 1983 A.O
[津山市]			タタ タタ 1♀ 14. V. 1983 A.O
津山市下横野(160m)	2♂ 2♀	20. VIII. 1983 A.O	タタ 春木(470m) 3♂ 1♀ 12. V. 1983 A.O
[勝田郡]			タタ タタ 1♂ 1♀ 14. V. 1983 A.O
奈義町滝本(300m)	1♂ 6.	VIII. 1977 K.O	タタ タタ (450m) 2♂ 14. V. 1983 S.Y
タタ 高円(410m)	1♂ 18.	V. 1980 T.N	タタ タタ (400m) 1♂ 14. V. 1983 A.O
タタ 滝山山麓(500m)	1♀ 5.	VI. 1983 A.O	タタ タタ (470m) 2♂ 3♀ 17. VIII. 1983 T.N
勝北町新野東(180m)	3♂ 1♀	20. VIII. 1983 A.O	宇治町後谷(380m) 1♂ 20. VIII. 1982 T.N
勝央町植月東(180m)	2♀	20. VIII. 1983 A.O	[上房郡]
勝田町大町美久津(160m)	1♂ 27.	VIII. 1983 A.O	賀陽町大和山 1♂ 30. VII. 1961 ⁶⁾
タタ 真殿(270m)	1♀ 27.	VIII. 1983 A.O	タタ 神子山(520m) 1♂ 15. VIII. 1979 S.Y
タタ 右手塙木(350m)	1♂ 27.	VIII. 1983 A.O	タタ タタ (540m) 1♂ 8. VIII. 1982 T.N
			タタ 上竹(320m) 1♂ 31. VIII. 1980 T.N

北房町原茂(420m)	1♀	24.	VIII.	1980	S.Y	♂ 西三原竿(500m)	1♂	16.	VIII.	1983	Y.K		
△ 井殿(400m)	1♂	13.	VIII.	1981	T.N	△ □ (450m)	1♀	21.	VIII.	1983	T.N		
△ 阿口(480m)	2♂	13.	VIII.	1981	A.O	△ 西三原村入(550m)	1♂	21.	VIII.	1983	T.N		
△ □	1♂2♀	23.	VIII.	1981	S.Y	△ 上鳴高原(400m)	1♀	21.	VIII.	1983	Y.K		
△ □	1♂	15.	VIII.	1982	T.N	〔小田郡〕							
△ □	1♂1♀	13.	VIII.	1983	Y.K	美星町宇戸谷(210m)	1♂	14.	V.	1983	A.O		
有漢町上有漢(400m)	1♂1♀	28.	VIII.	1980	S.Y	〔総社市〕							
△ (390m)	1♀	13.	VIII.	1981	T.N	日羽	1♂		6.	V.	1962 ^a		
〔御津郡〕													
建部町川口(90m)	1♂	18.	IV.	1980	A.O	楓			25.	IV.	1965 ^b		
△ 桜(140m)	1♂1♀	17.	VIII.	1980	A.O	井尻野(25m)	1♂	29.	IV.	1969	T.N		
御津町紙工兵坂峠(180m)	1♂	5.	V.	1981	A.O	下倉(50m)	1♀	28.	V.	1978	T.N		
△ 大坪(310m)	2♂	16.	V.	1981	A.O	下倉仏ヶ峠(150m)	2♂	1.	VI.	1980	M.H		
△ 伊田(110m)	1♂	18.	V.	1983	A.O	中尾滝山(410m)	1♀	14.	VI.	1981	M.H		
加茂川町上田西(290m)	3♂	17.	VIII.	1983	A.O	〔都窪郡〕							
〔久米郡〕													
久米南町上神目				5.	V.	1976 ^c	清音村黒田			22.	IV.	1951 ^d	
△ 中穂				3.	VI.	1976 ^c	△			4 exs	28.	VII.	1956 ^e
△ □				20.	VIII.	1976 ^c	△			1 ex	28.	IV.	1959 ^f
△ 卜穂				15.	VIII.	1976 ^c	山手村地頭片山(40m)	1♂	13.	VIII.	1973	Y.Ka	
△ 別所				15.	VIII.	1976 ^c	〔倉敷市〕						
△ 下神目				15.	VIII.	1976 ^c	住吉町				21.	VII.	1959 ^g
△ 上穂				21.	VIII.	1976 ^c	〔岡山市〕						
旭町天子山(600m)	1♂	3.	VIII.	1980	T.N	西大寺金山					22.	VII.	1953 ^h
中央町原田(140m)	2♂1♀	17.	VIII.	1983	A.O	大井筒井坂(80m)	1♂	4.	V.	1975	T.N		
久米町油木北(200m)	1♀	17.	VIII.	1983	A.O	四御神(50m)	2♂	5.	V.	1976	S.Y		
柵原町宮山(140m)	1♂1♀	20.	VIII.	1983	A.O	△	1♀	22.	VIII.	1976	S.Y		
△ 書副(110m)	2♂1♀	20.	VIII.	1983	A.O	△	1♂	30.	VII.	1977	S.Y		
〔赤磐郡〕													
吉井町河原屋大谷(230m)	1♀	22.	VIII.	1976	K.O	下牧松尾神社(40m)	1♀	28.	VII.	1979	T.N		
△ □	1♀	3.	VI.	1982	K.O	△	1♂	26.	VII.	1981	T.N		
△ 河原屋(90m)	3♂2♀	7.	V.	1983	A.O	牟佐地蔵(20m)	2♂	29.	V.	1980	A.O		
△ 塩木下(70m)	1♂	3.	V.	1982	K.O	△	1♂1♀	6.	VIII.	1980	A.O		
△ □ (90m)	3♂1♀	8.	V.	1982	T.N	東山内(130m)	1♂	27.	VI.	1980	K.W		
△ 塩木上(180m)	2♀	27.	VIII.	1983	A.O	奥矢津(50m)	1♂	16.	V.	1981	A.O		
赤坂町大苅田(40m)	3♂	8.	V.	1982	M.A	△	1♂	30.	VII.	1981	A.O		
△	2♂1♀	17.	V.	1982	A.O	高野(130m)	2♂	26.	V.	1981	A.O		
熊山町野間(60m)	1♂	18.	V.	1983	A.O	柏谷苦田(110m)	1♂1♀	8.	V.	1982	A.O		
山陽町沼田(20m)	1♂2♀	12.	V.	1983	A.O	金山山頂付近(480m)	1♀	3.	VI.	1982	K.O		
瀬戸町宿奥(50m)	1♀	19.	VIII.	1983	A.O	佐山(20m)	1♂1♀	22.	VIII.	1983	A.O		
〔和気郡〕													
和気町福富(30m)	1♂1♀	10.	V.	1981	A.O	2 ヤマキマダラヒカゲ							
佐伯町宇生杉下(40m)	2♂5♀	19.	VIII.	1983	A.O	〔阿哲郡〕							
吉永町神根本(80m)	1♂1♀	19.	VIII.	1983	A.O	大佐町大佐山					13.	V.	1961 ⁱ
〔後月郡〕													
芳井町太刀洗(570m)	1♀	28.	VIII.	1982	T.N	△ 君山(730m)	1♂	13.	VIII.	1978	S.Y		

[新見市]								
千屋実谷	1♂	23. V. 1975	M.N	新庄村四十曲峠(750m)	1♂	6. VII. 1981	K.O	
△ (610m)	1♂	29. V. 1977	T.N	△ 高下(570m)	1♂	14. VII. 1980	S.Y	
△ (650m)	1♂	21. VII. 1977	T.N	△ △ (590m)	1♂	31. VII. 1982	A.O	
市倉峠	1♂	7. VII. 1976	M.N	上蒜山(1120m)	3♂ 1♀	14. VII. 1971 ^a		
千屋井原蓬(630m)	1♂	29. V. 1977	T.N	△ (1100m)	1♂	29. VII. 1972 ^a		
千屋花見(630m)	1♂	6. VII. 1977	S.Y	コートビア(1000m)	1♂	25. VII. 1972 ^a		
△	2♂	6. VII. 1978	T.N	中蒜山(890m)	1♂	14. VII. 1971 ^a		
△	2♀	13. VII. 1983	S.Y	△ (1050m)	1♂	14. VII. 1971 ^a		
[真庭郡]				△ (1120m)	2♂ 1♀	14. VII. 1971 ^a		
新庄村毛無山山頂	1♂	20. V. 1977 ^a		△ (800m)	1♂	26. VII. 1971 ^a		
△ 毛無山山麓(710m)	1♀	5. IX. 1982	T.N	△ (950m)	1♂	25. VII. 1972 ^a		
△ 田浪	1♀	16. VII. 1977 ^a		中蒜山中腹		26. VII. 1972 ^a		
△ 四十曲峠(750m)	1♂	20. VII. 1978	K.O	中蒜山～ふんぐり峠(910m)	1♂	2. VIII. 1971 ^a		
						26. VII. 1972 ^a		

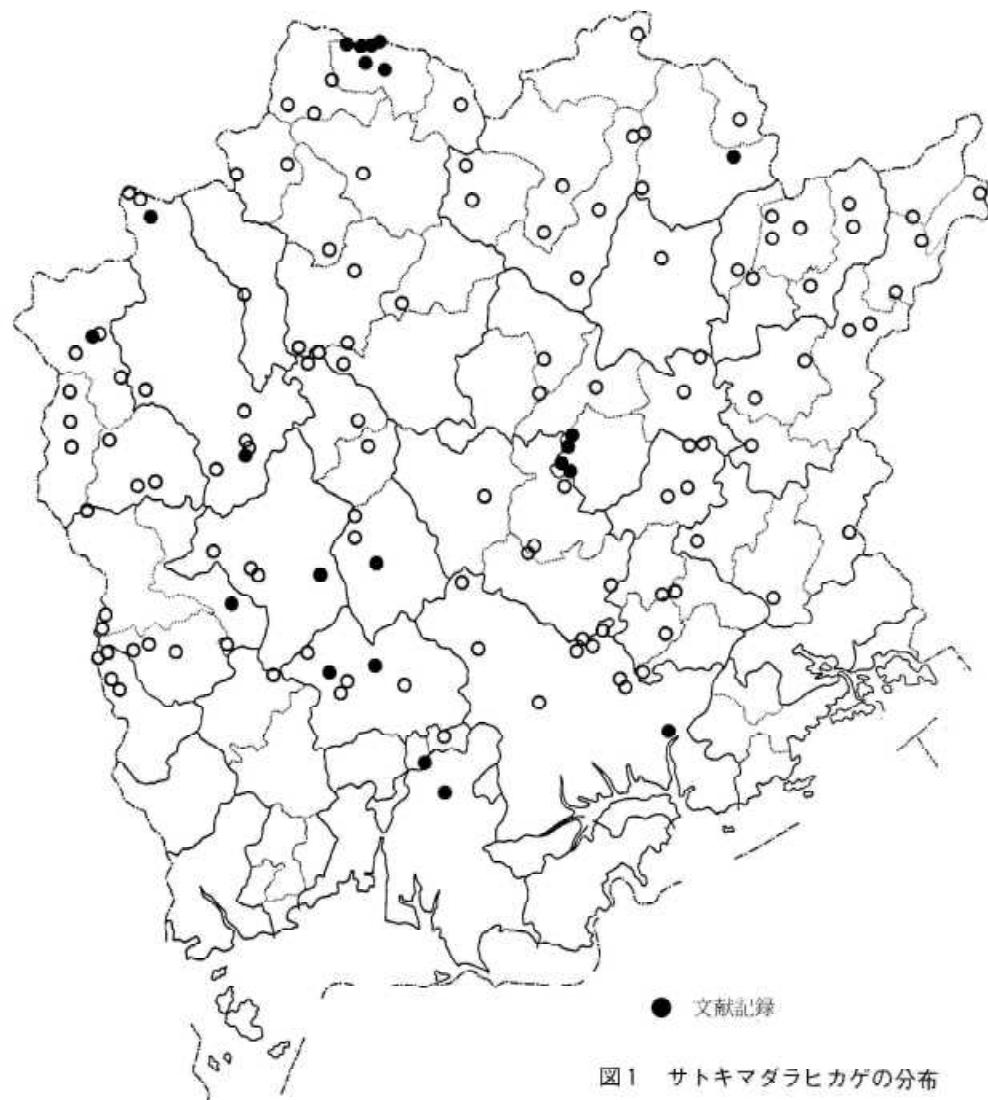


図1 サトキマダラヒカゲの分布

下蒜山(800m)	1 ex	26. VII. 1972 ⁵¹	上斎原村恩原川上流(800m)	1♀	20. V. 1981	K.O
△ (1100m)	1♂	26. VII. 1972 ⁵¹	△ 遠藤(750m)	3♂	12. VII. 1981	K.O
川上村明連溪谷(620m)	1♂	27. VI. 1982	△ 宮ヶ谷(780m)	1♂	26. VI. 1982	K.W
△ 上徳山鳥取大学農学部演習林(660m)			阿波村大杉上流	1♂	28. V. 1977 ⁵¹	
	1♂	13. VII. 1983	△ 黒岩高原(840m)	1♂	10. VIII. 1983	T.N
△ 上福田(470m)	1♂	13. VIII. 1983	奥津町泉源	1♂	26. V. 1976	M.N
△ □	1♂	13. VIII. 1983	△ 大神宮原(540m)	2♂	20. VIII. 1983	A.O
湯原町種金ヶ原(510m)	2♂ 1♀	28. VIII. 1983	富村のとろ原(660m)	2♂ 4♀	28. VIII. 1983	T.N
中和村山乘山(910m)	1♀	28. VIII. 1983	〔勝田郡〕			
〔苦田郡〕			奈義町滝本(300m)	1♀	6. VIII. 1977	K.O
上斎原村人形峠	1♀	11. VIII. 1975 ⁴¹	△ 滝山山麓(470m)	2♂	5. VI. 1982	T.N
△ 恩原(730m)	3♂	12. VIII. 1980	△ □ (500m)	1♀	5. VI. 1983	A.O
△ □	1♂	18. VIII. 1980	勝田町右手塩木(350m)	2♀	27. VIII. 1983	A.O

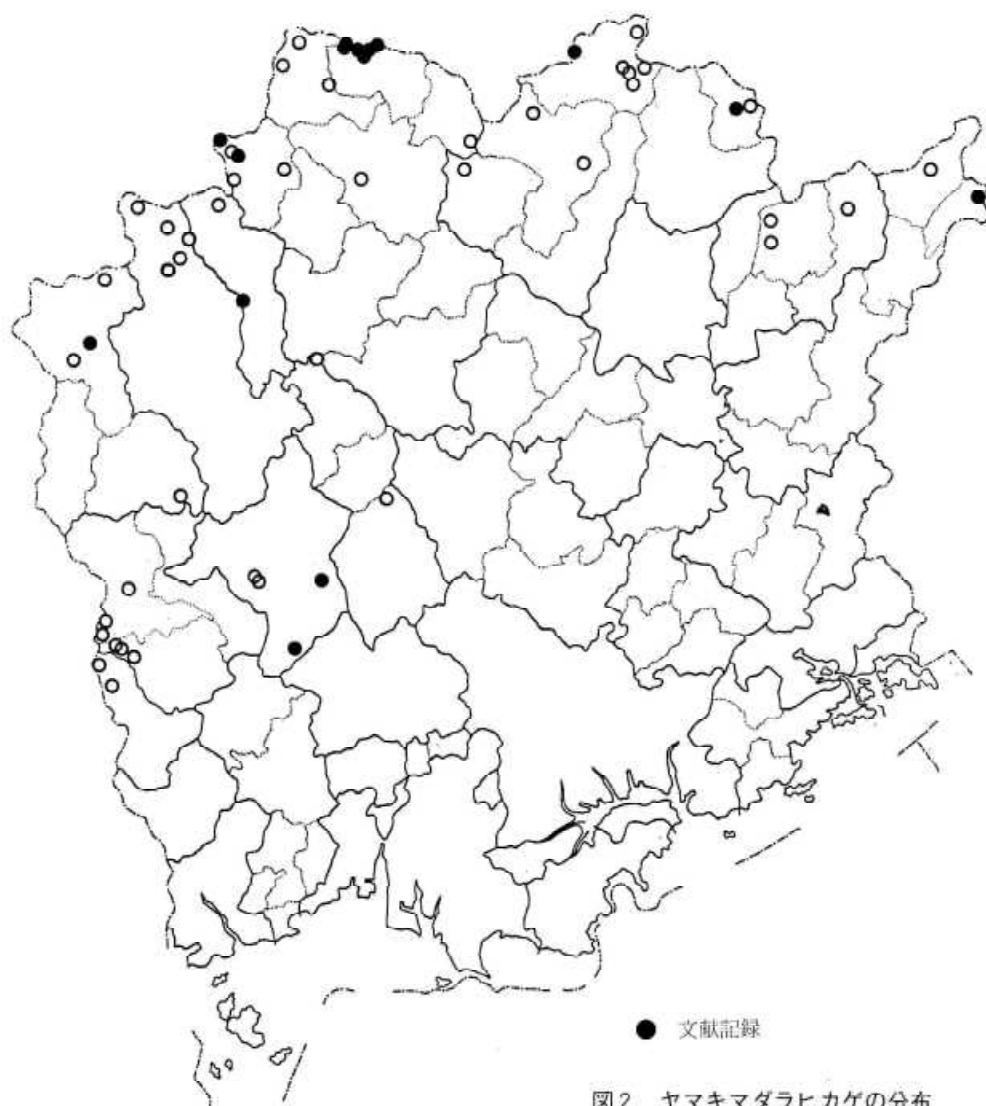


図2 ヤマキマダラヒカゲの分布

〔英田郡〕	
東粟倉村後山	1♂ 29. VI. 1975 ⁴⁾
後山山麓(700m)	1♂ 20. VI. 1982 T.N
西粟倉村大茅(450m)	1♂ 4♀ 27. VII. 1983 A.O
〔川上郡〕	
備中町津々羅(640m)	1♂ 28. VII. 1979 T.N
安田(610m)	2♂ 20. VII. 1981 A.O
阿部浦(370m)	1♂ 20. VII. 1982 T.N
川上町穴門山神社(400m)	1♂ 15. V. 1982 K.W
弥高山山頂(650m)	3♂ 20. VII. 1982 T.N
横松～芋原(400m)	1♂ 29. V. 1983 T.N
*	1♀ 2. VI. 1983 A.O
〔高梁市〕	
臥牛山	1♂ 13. V. 1962 ⁵⁾
*	2. VII. 1965 ⁶⁾
広瀬	9. V. 1971 ⁷⁾
松原町春木(480m)	1♂ 1♀ 2. VII. 1981 M.H
(470m)	1♂ 12. V. 1983 A.O
*	2♂ 1♀ 17. VII. 1983 T.N
(400m)	1♀ 14. V. 1983 A.O
松岡西野呂(460m)	1♂ 1♀ 12. V. 1983 A.O
*	1♀ 14. V. 1983 A.O
〔上房郡〕	
北房町阿口(490m)	1♂ 28. VIII. 1980 S.Y
*	1♀ 28. VIII. 1980 T.N
*	1♀ 13. VIII. 1981 T.N
*	1♂ 13. VIII. 1983 S.Y
賀陽町持信天福寺(560m)	1♂ 27. VIII. 1983 T.N
〔後月郡〕	
芳井町西三原竿(500m)	1♂ 1♀ 16. VIII. 1983 Y.K
*	3♂ 1♀ 21. VIII. 1983 Y.K
*	5♂ 1♀ 21. VIII. 1983 T.N
西三原村入(550m)	2♂ 21. VIII. 1983 Y.K
*	4♂ 1♀ 21. VIII. 1983 T.N

III 調査結果の概要

これまでの調査で得られた採集記録や文献等による分布資料から、岡山県における両種の分布はおおむね次のとおりである。

まず、サトキマダラヒカゲは図1のように南部低地から中国山地までほぼ県下全域で記録されているが、南部の瀬戸内沿岸地域ではまだ調査が十分でないことが、調査しても目撃すらできなかった場所もあることから、現在までに確認された産地は非常に少ない。

一方、吉備高原地域以北では、雑木林やその周辺には

多発するが、中国山地のブナ・ミズナラが見られるような高地の温帯林では少なくなるようである。

垂直分布は20m~1,000m程度。

次に、ヤマキマダラヒカゲは図2に示すように吉備高原地域西部から中国山地にかけて記録されており、南部低地及び吉備高原地域東部からは、今のところ発見されていない。

中国山地では多く記録されており広く分布しているものと思われるが、吉備高原地域ではやや局地的となる傾向がみられ、個体数も多くない。

垂直分布は300m~1,120m程度で、500m以上の地域に記録が多い。

V おわりに

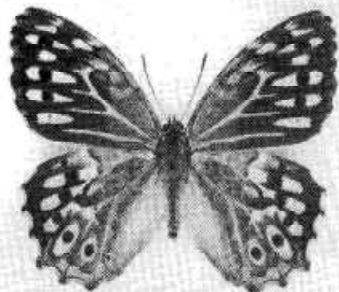
今回の調査は、とりあえず岡山県におけるヤマ・サト両種の分布の概要を把握することを目的としたものであるが、今後これをたたき台として両種の詳細な分布像の解明に向けて資料を集積していくとともに、混生地、食草、出現期と化性など生態面からの調査も併せて行いたいと考えている。

同好諸氏におかれても両種に関する資料をお持ちの方は、発表されるか筆者まで連絡いただければ幸いであります。

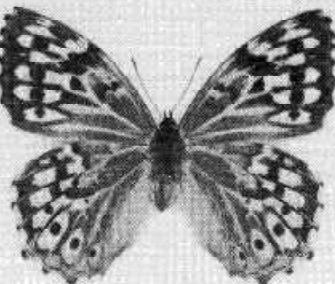
V 参考文献

- 1)高橋直弓(1968) キマダラヒカゲの“平地型”と“山地型”に関する問題、昆虫と自然3(12): 2~5
- 2)———(1970) 日本産キマダラヒカゲ属 *Neope* に属する二つの種について、蝶と蛾2(1+2):17~37
- 3)山本正志(1983) 新見市とその周辺のチョウ相、すかしば(20):35~40
- 4)難波通孝(1975) 岡山県産蝶類の分布に関する知見、すずむし(112):31~32
- 5)追手門学院大学生物学研究会(1973)、蒜山の生物調査報告
- 6)倉敷昆虫同好会(1972) 岡山県の蝶、すずむし(108):1~62
- 7)岸清己ほか(1976) 久米郡久米南町の蝶類22種について、すずむし(113):33~34
- 8)難波通孝(1978) 岡山県産蝶類に関する知見、すずむし(115):15~24

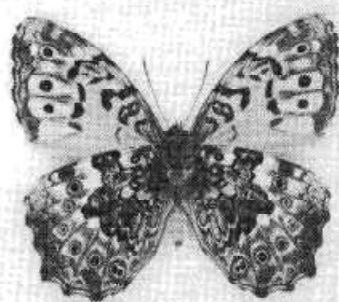
サトキマダラヒカゲ



春型♂：小田郡美星町宇戸谷産



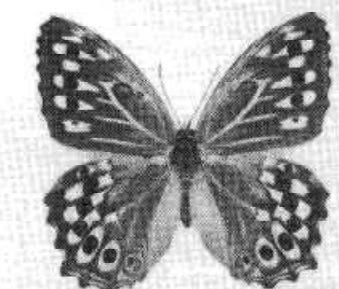
春型♀：和氣郡和氣町福富産



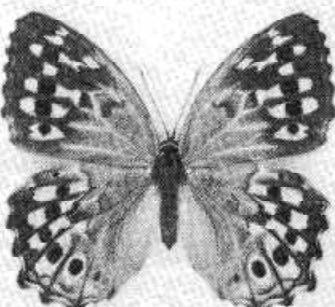
同上裏面



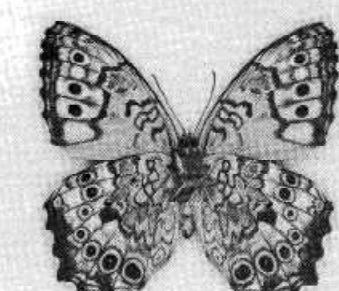
同上裏面



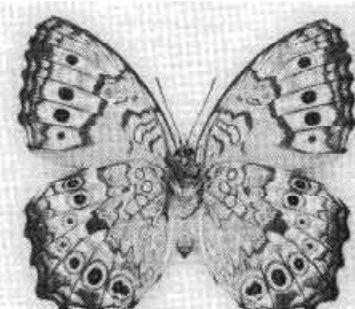
夏型♂：岡山市牟佐地蔵産



夏型♀：津山市下横野産

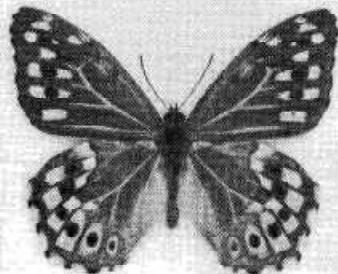


同上裏面

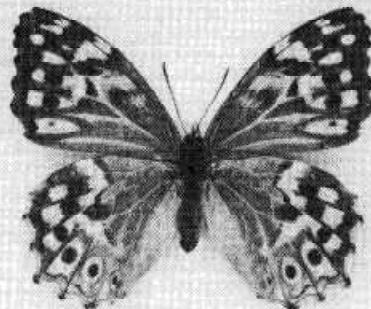


同上裏面

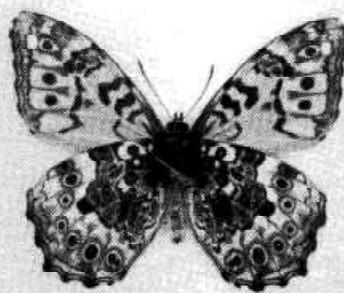
ヤマキマダラヒカゲ



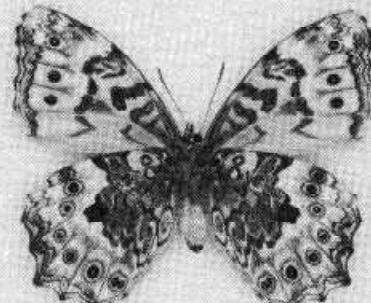
春型♂：阿哲郡哲多町矢戸無明谷産



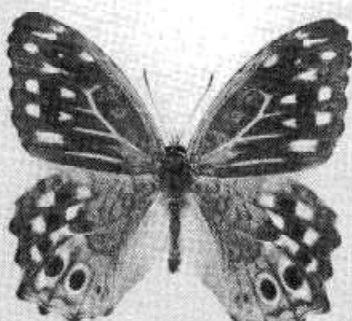
春型♀：高梁市松原町松岡西野呂産



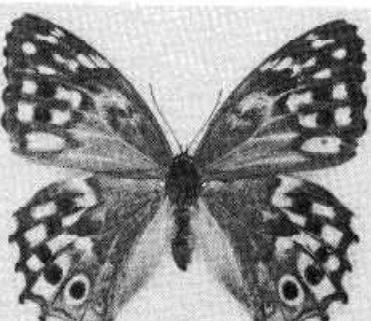
同上裏面



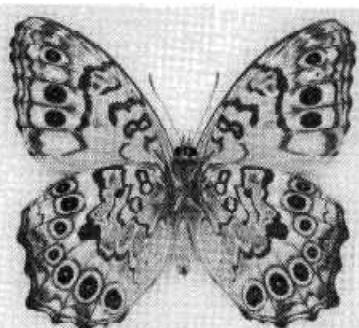
同上裏面



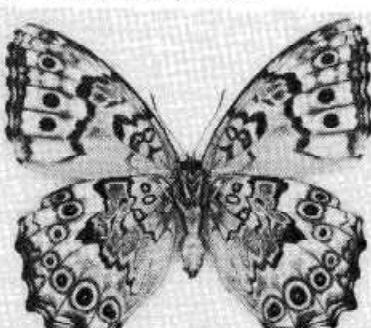
夏型♂：苦田郡奥津町大神宮原産



夏型♀：上房郡北房町阿口産



同上裏面



同上裏面

岡山県のカミキリムシ数種の記録

山 地 治

岡山県より未記録のカミキリムシについて、那須敏、渡辺昭彦両氏より記録の発表を依頼されたので、筆者の採集記録も合わせて報告しておく。貴重な記録を発表する機会を与えてくれた両氏に感謝する。(※印は県下初記録種)

1. **Pseudosieversia shikokensis* HAYASHI

シコクヒメコブハナカミキリ

1♂, 英田郡後山 26. VI. 1982 那須採集

那須氏によって以下の2種と共に“臥牛”No.26紙上に後山調査日記として報告されているが、県下初記録種なのでここに正式に記録しておく。一昔前は幻のカミキリとでも言ったところだが広島県で採れ、次いで兵庫県で採れ、ついに岡山県下でも採集された。成虫はカツラ大木に集まるそうであるのでカツラに注目すればまだまだ生息地が見つかると思う。

2. **Pidonia maculithorax* Pic

カクムネヒメハナカミキリ

1♂1♀, 英田郡後山 4. VII. 1982 那須採集

水野弘造によれば、*P.bouvieri* ブービエヒメハナカミキリと本種は混同されていたが、別種であって西日本においては殆んどの地で混棲しているそうである。本種の西限となった後山にもブービエヒメハナカミキリは分布しているのであろうか?

3. **P.dealbata* KUBOKI

ウスヨコモン(シラユキ)ヒメハナカミキリ

3♀, 英田郡若杉原生林 8. VI. 1974 那須採集
ナナカマド花上より; 1♀, 英田郡後山中腹 4. VII.

1982 那須採集。サワフタギ花上

鳥取県大山~京都府芦生にかけて分布している種であるが、かなり深い山でないと生息していないよう思う。

4. **P.approximata* KUBOKI トサヒメハナカミキリ
1♂, 勝田郡滝山 11. VI. 1977 山地採集; 1♀, 同所 6. VI. 1982 渡辺採集

滝山は原生林が残っている山であるが、極端に *Pidonia* の個体数の少ない所である。1日の *Pidonia* の採集数が10頭程度であるが、モミ林に生息しているという本種が採集出来た。四国、九州の個体よりも大きく、兵庫県赤西の個体によく似ている。

5. *Judolia japonica* (TAMANUKI)

ヤマトキモンハナカミキリ

1♂, 阿哲郡荒戸山 19. VI. 1983 渡辺採集

北部山地で記録されているが、県中部ではかなり寒冷な環境の荒戸山で得られたことは面白い。スイーピングで採集。

6. *Phymatodes quadrimaculata* GRESSITT

ヨツボシチビヒラタカミキリ

11exs.阿哲郡哲多町友行 28. IV. 1983, 山地採集
伐採されたコナラ等の枯枝上に多数見られた。臥牛山以外では県北だけで知られていた。7. *Chlorophorus diadema kurotora* HAYASHI

クロトラカミキリ

2 exs.真庭郡宮城 9. VII. 1975 山地採集; 1 ex. 真庭郡新庄村大原 30. VII. 1983 山地採集

どちらの採集地も貯木場で採集した。県内の分布はまだよく分かっていないが、エグリトラに較べて時期的に遅いだけで、各地に分布しているものと思う。

8. *Cleptometopus bimaculatus* (BATES)

ハスオビヒゲナガカミキリ

1 ex.勝田郡滝山 3. VIII. 1973; 1 ex.同所. 9. IX. 1978; 1 ex.川上郡磐窟溪 9. IX. 1973; 1 ex.同所. 12. IX. 1981; 1 ex.若田郡三ヶ上 9. VII. 1974; 3 exs.英田郡福本 25. VI. 1977 以上いずれも山地採集

(〒700 岡山市幸町9-9)

吉備高原地域西北部のメスアカミドリシジミ

中村 具見*

メスアカミドリシジミ *Chrysozephyrus smaragdinus* BREMER は北海道から九州まで広く分布しているが、温帯落葉広葉樹林を主な生息域とするため西南日本では一般に山地性となり、その分布も局地的になる傾向がある。

岡山県においても、温帯林の見られる北部中国脊梁山地では採集例が少なくないが、中部吉備高原地域からは石井(1978)及び山本(1983)の報告がある他は、これまで殆んど記録されていないと思われる。筆者は、吉備高原地域の一部において若干の新産地を確認することができたので、参考までにとりまとめて報告しておきたい。

なお、報告にあたり、調査に協力していただいた難波圭吾、近藤要一、安井茂夫、尾関啓吉の諸氏に厚くお礼申しあげる。

分布記録

新たに分布を確認できた地域について、採集地(採集地点のおおよその標高)、採集年月日、採集個体数、採集者順に記した。

〔阿哲郡哲多町〕

荒戸山山頂(760m), 10. IX. 1978, 16♀
中村・難波

荒戸神社付近(580m), 20. III. 1980, 3♀
中村・尾関

荒戸山は哲多町西北部の吉備高原上にある玄武岩質の山で、ドーム状の山体の中腹から下がヒノキ、スギの造林地に変わりつつある他は、コナラ、ミズナラ、カシワ、アベマキ、クリ、アカシデ、ケヤキ、リョウブなどからなる落葉広葉樹林がよく残っている。このうち、山頂付近と山麓の荒戸神社周辺の樹林内で採卵することができたが、個体数はあまり多くないようである。

南北(500~540m), 4♀1♂, 20. VI. 1976,
中村・安井

♂ 17♀, 12 XII. 1976, 中村

大山(560m), 7♀, 23. XI. 1977, 中村・難波
♂ 2♀, 20. III. 1980, 中村・尾関

小平谷(480m), 2♀, 23. XI. 1977, 中村
蓬畑(480m), 7♀, 20. III. 1980, 中村
引無(470m), 3令幼虫 1ex, 3. V. 1978, 中村
♂ 6♀, 8. IV. 1979, 中村
横谷(550m), 3令幼虫 1ex, 3. V. 1978, 中村・安井

以上の哲多町西北部において発見された産地は、荒戸山周辺に広がる起伏のゆるやかな高原状の地域にあるが、このあたり一帯は比較的平坦な地形であることから大半は耕地化されており、また林地もアカマツ林が多く見られるなど植生はやや単調な地域である。このため、初めてこの付近を訪れた際は本種が分布しているとは予想もしていなかったが、南北から鯉ヶ窪へ通する林道で、偶然成虫を採集することができた。その後、採卵調査によって水田の傍の雑木林や集落の周辺にある植栽されたソメイヨシノなど、何の変哲もない場所から次々に発見され、個体数は多くないものの広く分布していることが明らかになったものである。

〔阿哲郡西町〕

矢田奥(510m), 4♀, 23. XI. 1977, 中村

哲多町新田から西町矢田へ下る途中の沢で採集したもので、荒戸山とその周辺地域から連続した産地と考えられる。

〔新見市南部〕

法曾中野呂(390m), 1♀, 26. VI. 1983, 中村
1♀, 8. I. 1984, 近藤

新見市南部の石灰岩台地の一角を占めるこの付近は、高梁川により刻まれた渓谷をはさんで、向かい側にある草間台地と同じようにナラガシワ、アベマキ、コナラなどの落葉二次林が多く見られる。ここでは、ヒロオビミドリの採集時にナラガシワから飛び出した1♀を得た。その後、採卵調査を試みたが僅か1♀しか得られず、非常に少ないものと考えられる。ちなみに、草間台地ではこれまで多くの採集者が入っているにもかかわらず、未だ発見されていないようである。

〔川上郡成羽町〕

天神山山頂(770m), 6♀, 6. XI. 1977, 中村

天神山は、成羽町北部の備中町境にある川上郡内最高峰(標高778m)である。北側の上光谷に面する斜面

* 〒719-11 総社市真壁1048

はきれいに伐採されているが、山頂付近の狭い範囲に、コナラ、クリ、アカシデ等を主とする落葉広葉樹林が残っており、このあたりで採卵を試みたところ、少ないながら得ることができた。筆者の知る限りでは、今のところ岡山県の南限にあたる産地と思われる。

分布の概要

吉備高原地域のメスアカミドリについては、今後、さらに新産地が追加されるものと思われるが、これまでの調査により確認できた上記の産地に、既に報告されている産地を加えて、一応、現地点で判明している分布状況を簡単にまとめておくことにしたい。

まず、既知産地であるが、石井(1978)は岡山県のゼフィルスの分布等についてその概略をとりまとめた中で、本種の南限にあたる産地として“新見市河本ダム”及び“哲西町付近”をあげている。しかし、この記録には詳しいデータが付されていないため、後者については正確な場所は不明であるが、報文中の分布図にはこれらに相当すると思われる産地が示されている。一方、最近になって山本(1983)により哲多町無明谷で1点が得られたことが報告されているが、以上の他には当地域における報告はないようである。これらの既知産地と今回報告する産地をあわせてプロットしたのが下の分布図である。

これをみると、吉備高原地域西北部では、まず、哲多町西北部から哲西町境にかけての荒戸山とその周辺地

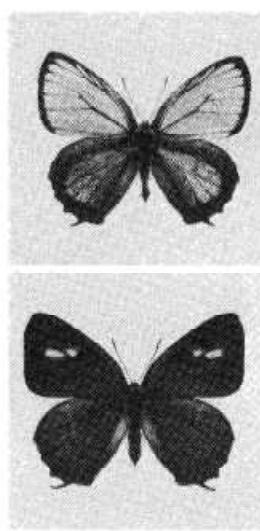
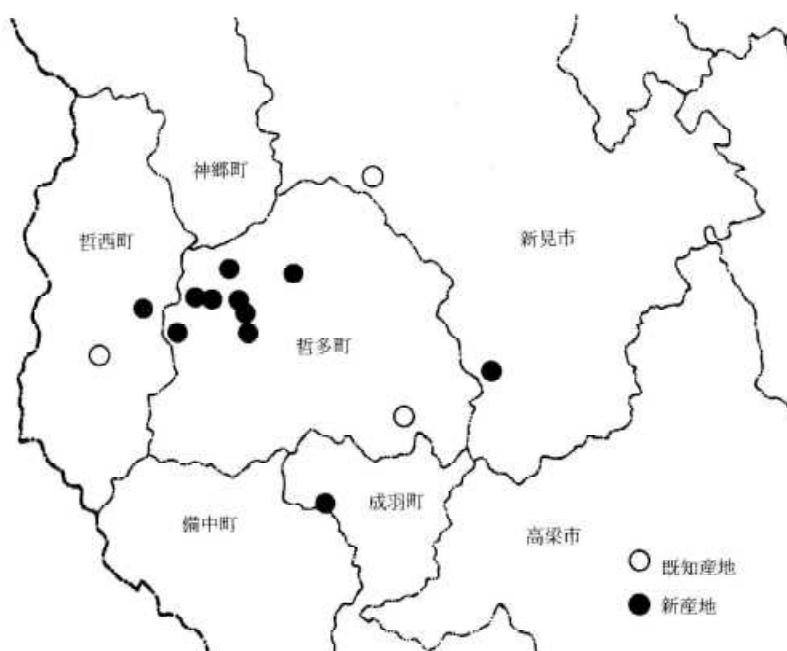
域に産地が集中しており、この標高500m前後の高原地帯には、個体数は多くないもののかなり普遍的に分布しているものと推測される。

次に、新見市南部から成羽町北部において3ヶ所の産地が確認されており、この付近の分布調査は十分とはいえないが、やはり個体数は少なく、また生息地も狭い範囲に限られる傾向にある。なお、これらの孤立した産地は、今のところ岡山県における本種の分布の南限を形成している。

このほか、以上の産地に近接する哲多町南部や備中町北部などでも目ぼしい所を何か所か調べてみたが、残念ながら発見できていない。しかし、川上郡に隣接する広島県東南部からは、二、三の産地が知られているので、岡山県でも、今後さらに南部よりのこれらの地域から新しい産地が発見される可能性が強いと思われる。このため、空白地域における分布調査をさらに重ねていくとともに、生息地の環境等も、吉備高原地域では中国山地の温帶落葉広葉樹林における場合とはその様相をやや異にすると思われる所以、今後、分布、生態両面からの詳しい調査による資料の集積が望まれるところである。

参考文献

- 石井貞志(1978) 岡山県のゼフィルス, 月刊むし(84)
: 17—22
山本正志(1983) 新見市とその周辺のチョウ相, すかしば(20): 35—40



川上郡成羽町天神山産
(♂: 12. V. 1978羽化)
(♀: 17. V. 1978羽化)

黒岩高原7月のチョウ

近藤要一

1982, 83の両年、いずれも7月に、苦田郡阿波村黒岩高原でチョウを採集する機会に恵まれたが、当地域のチョウに関する分布記録はこれまで殆んどないと思われる所以報告しておく。

なお発表にあたり、黒岩高原一帯の所有者で、今回の調査を快く許可していただいた小椋重男氏並びに調査に同行され、採集データを提供された中村具見氏に深謝する次第である。

採集記録

採集データは、採集頭数(採集者)、採集年月日の順に記し、採集者名は、近藤→K、中村→Nと略した。

1. *Ochloides venata* BREMER et GREY コキマダラセセリ
1 ♀(K), 3 ♀(N), 10. VII. 1983

発生初期でいずれも新鮮であったが、個体数は少なかった。

2. *Ochloides ochracea* BREMER ヒメキマダラセセリ
1 ♀(K), 2 ♀(N), 10. VII. 1983

3. *Aeromachus inachus* MÉNÉTRIÈS
ホシチャバネセセリ
1 ♀(N), 31. VII. 1983

竹内(1973)により既に記録されている。7月中旬から8月上旬に発生する中国山地の他地域同様年1化と考えられる。

4. *Parnara guttata* BREMER et GREY
イチモンジセセリ
1 ♀(K), 10. VII. 1983

非常に多くの個体が見られた。平地で夏以降に多発する個体に比べて、裏面地色は非常に明るい。

5. *Antigius butleri* FENTON ウスイロオナガシジミ
1 ex.(K), 11. VII. 1982
3 exs.(K), 5 exs.(N), 10. VII. 1983

6. *Chrysozephyrus smaragdinus* BREMER
メスアカミドリシジミ
1 ♀(K), 11. VII. 1982

7. *Favonius orientalis* MURRAY オオミドリシジミ
1 ♀(K), 10. VII. 1983

8. *Favonius jezoensis* MATSUMURA エゾミドリシジミ
3 ♀ 5 ♂(K), 11. VII. 1982
8 ♀ 2 ♂(K), 4 ♀ 6 ♀(N), 10. VII. 1983

9. *Favonius aurorinus* OBERTHUR
ジョウザンミドリシジミ
12

2 ♀(K), 4 ♀ 2 ♂(N), 10. VII. 1983

ゼフは以上5種の他にアカシジミ、ミズイロオナガシジミを確実に目撃しており、計7種を確認できたことになる。また、これらのはほとんどは、黒岩高原入口に近いミズナラ林で得られた。

10. *Plebejus argus* LINNAEUS ヒメシジミ

1 ♀ 1 ♀(K), 11. VII. 1982

3 ♀ 2 ♀(K), 12 ♀ 4 ♀(N), 10. VII. 1983

黒岩高原は、中国地方における本種の分布の東限にあたる産地と思われる。高原の中央に生じた湿原とその周辺にきわめて多い。

11. *Libythea celtis* FUESSLY テングチョウ

1 ♀(N), 31. VII. 1983

12. *Argyronome ruslana* MOTSCHULSKY

オオウラギンスジヒョウモン

1 ♀(N), 31. VII. 1983

13. *Argynnis paphia* LINNAEUS ミドリヒョウモン

1 ♀(N), 10. VII. 1983

14. *Fabriciana adippe* LINNAEUS ウラギンヒョウモン
1 ♀(K), 10. VII. 1983

15. *Melitaea diamina* LANG ウスイロヒョウモンモドキ
3 ♀ 4 ♀(K), 7 ♀ 2 ♀(N), 10. VII. 1983

既に♀は一部汚損していた。発生地は限られており、個体数も多くない。

16. *Apatura metis* FREYER コムラサキ

1 ♀(N), 31. VII. 1983

17. *Harima callipteris* BUTLER ヒメキマダラヒカゲ
1 ♀ 1 ♀(N), 10. VII. 1983
♂(N), 31. VII. 1983

18. *Neope niphonica* BUTLER ヤマキマダラヒカゲ
1 ♀(N), 10. VII. 1983*

入口付近の広葉樹林で得たもので、きわめて新鮮な春型個体であった。

19. *Coenonympha oedippus* FABRICIUS ヒメヒカゲ
1 ♀(N), 10. VII. 1983

目撃したのは、汚損少破したこの個体のみで、非常に少ないようである。南部低地産のものに比較して、やや小型である。

* 織田明文氏の「岡山県におけるキマダラヒカゲ属の分布資料」(p. 1~8)に収録されているものと同一の記録である。

参考文献

竹内亮 (1973) 岡山県産蝶類の分布記録追加、臥牛

(1) : 2

(〒719-11 総社市小寺876)

岡山県のコメツキムシ追録 I

渡辺 昭彦

岡山県産のコメツキムシについては、本誌114号に124種を報告したが、その後種名の決定できたものや同好諸氏の協力により入手できたもの等、新たに本県に産することが確認できた種をここに報告します。

貴重な標本を快く提供していただいた各氏及び文献等お世話になった岸井尚氏に心からお礼を申し上げます。

学名の前の番号は前報（本誌114号）の続きとした。また、亜科等の取り扱いや配列は近年かなり変更されているが、ここでは報文の性格上前報のままでした。

subfamily NEGASTRIINAЕ ミズギワコメツキ亜科
125. *Migiwa(s. str) insulsus* (CANDEZE, 1873)

クロミズギワコメツキ

阿哲郡哲多町本郷 3♀2♂, 19. VI. 1983 (渡辺採集)

subfamily ATHOINAE ツヤハダコメツキ亜科

Limonius group

126. *Nothodes marginicollis* (LEWIS, 1894)

ウスチャイロカネコメツキ

真庭郡毛無山 1♀, 11. VI. 1983 (山地治採集)

Athous group

127. *Scutellathous comes comes* (LEWIS, 1894)

チャイロツヤハダコメツキ

英田郡後山 1♀, 4. VII. 1982 (那須敏採集)

subfamily CTENICERINAЕ ヒラタコメツキ亜科

128. *Actenicerus aerosus* (LEWIS, 1894)

英田郡後山 7♀3♂, 13. VI. 1971 (渡辺採集)

これらの標本は、Dataに見るとおり前回報告時すでに手元にあったのであるが、当時岸井氏が検討中で発表を差し控えていた。学名の適用については岸井¹⁾に従ったが、これらの個体群は *A. yamashitai* ORIYA ホソシモフリコメツキに極めてよく似ているが、やや小型である点や♀の班紋が極めて不明瞭な点等で区別できる。

129. *Actenicerus* sp. キアシシモフリコメツキ¹⁾

苦田郡上齊原 1♀, 17. V. 1968 (那須敏採集)

この標本も前回の報告時に手元にあり、大平²⁾の検索表に従えばその特徴的な♀交尾器の形状等 *A. kiashianus* (MIWA, 1927) クロシモフリコメツキに

よく一致することもわかっていたのではあるが、MIWAの記載¹⁾ (*Corymbites pruinosis var. kiashianus*) とは一致しないので発表を保留していたものである。岸井¹⁾はこの標本により上記のような学名未定のままで発表したのでここに報告しておく。

この種の外見は *A. orientalis* に極めてよく似ていて区別し難いが、毛班が暗色で灰白毛を混生しない点に特色があるようである。しかし、♀交尾器の形態は上記のように日本産のこの属の中では極めて特異で区別はたやすい。追加の標本を早く入手したいものである。

subfamily AMPEDINAE コメツキ亜科

130. *Gamepenthes pictipennis* (LEWIS, 1894)

キマグラコメツキ

真庭郡毛無山 1♀, 9. VII. 1983 (山地治採集)

西日本では山地性の稀種である。

subfamily CARDIOPHORINAЕ ハナコメツキ亜科

131. *Cardiophorus niponicus* LEWIS, 1894 ホソハナコメツキ

高梁市臥牛山 1♀, 5. V. 1972, 2♀, 10. V. 1974 (山地治採集)

川上郡西油野 1♀1♂, 25. IV. 1976 (渡辺採集)

この種は前回の報告時に手違いで書き落したものである。同属の *C. pinguis* クロハナコメツキよりも山地性で個体数も多くないが稀というほどのものではない。

132. *Paracardiophorus musculus opacus* (LEWIS, 1894)

クロコハナコメツキ

総社市神在 1♀, 8. VI. 1983 (渡辺採集)

この個体は *P. pullatus* コハナコメツキに混じって右の下より得られたものである。種名の決定は岸井¹⁾の検索表によったが、この種の分布は従来思われていたより広いようで同定には注意を要する。

〔訂正〕前回の報告（本誌114号）の中で次のような間違いがあったので訂正しておく。

114号p.6 19行目

誤

正

1♀, 6. IV. 1976 (渡辺) → 1♀, 6. VI. 1976 (渡辺)

参考文献

- 1) Y.MIWA (1927) New and some rare species of Elatevidae from Japanese Empire. Ins. Matsu II(3)
 2) T.KISHII (1977) Some New Forms of Elateridae in Japan (XII) Bull.Heian H.S.
 3) ———— (1978) A study on the genus Actenicerus Kiesenwetter from Japan and its adjacent

area (1). Bull.Heian H.S.

- 4) ———— (1980) ————— (2). Bull.Heian H.S.

- 5) 大平仁大 (1969~71) 日本のコメツキムシ. 昆虫と自然
-
- (〒701-01 倉敷市上東1050-1)

高鉢山 (鳥取県) のクワガタムシ

山 地 治

筆者は、ここ数年、高鉢山 (鳥取県八頭郡) において甲虫の採集をして来た。カミキリムシについては、那須敏氏と共に“すずむし”紙上に報告して来たが、今回クワガタムシ科について予想される種がほぼ出揃ったようなのでこの機会に報告する。筆者の採集品については採集者名を省いた。記録の発表を許された渡辺昭彦、山下晶両氏にお礼申し上げる。

採集記録

1. *Lucanus maculifemoratus* MOTSCHULSKY

ミヤマクワガタ

1♂, 20. VII. 1979 山下晶採集

1♀, 26. VII. 1980; 1♀, 14. VII. 1981

ヤナギ樹幹上等に見られる、当地においてはあまり多くはない。

2. *Platycerus delicatulus* LEWIS ルリクワガタ

1♂, 5. V. 1981 渡辺昭彦採集

林道上に飛来、近くでは氷の山の記録があるが、西南日本での産地は少ないようである。

3. *Platycerus acuticollis* Y.KUROSAWA コルリクワガタ

1♂, 19. V. 1979 広葉樹のすくい網

1♂, 5. V. 1981 渡辺昭彦採集

ルリクワガタと同じ地点 (alt.800m) で相前後して飛来して来た。

4. *Prismognathus angularis* WATERHOUSE

オニクワガタ

1♂, 14. VII. 1981

ブナの朽木中より採集した。中国地方の記録はあまりないようである。

5. *Prosopocillus inclinatus* MOTSCHULSKY

ノコギリクワガタ

1♂, 13. VI. 1981; 3♂ 1♀, 14. VII. 1981; 1♀, 25. VII. 1981

山麓のヤナギには、樹液が出ていたためかいつも多数の木種が集まっている。林道奥では、トチの実に本

種やカナブン・スミナガシ等が来集しているのを那須敏氏と共に観察している。かってはエゾエノキの枝先に、多数のカブトムシに混じって飛び回っていた。

6. *Nipponodorus rubrofemoratus* VOLLENHOVEN

アカアシクワガタ

1♂, 25. VII. 1981; 1♂ 1♀, 14. IX. 1981

ヤナギ樹幹上やブナ立枯れの根元によくとまっている。

7. *Nipponodorus montivagus* LEWIS

ヒメオオクワガタ

1♀, 2. VIII. 1980 ブナ朽木中

8. *Macrodorcas rectus* MOTSCHULSKY コクワガタ

1♂, 7. VI. 1981; 1♀, 25. VII. 1981; 1♂ 1♀, 14. VIII. 1981

ヤナギ樹幹上や倒木下によく見られる。

9. *Macrodorcas striatipennis* MOTSCHULSKY

スジクワガタ

1♂, 31. V. 1979 山下晶採集

1♂, 14. VIII. 1980; 1♀, 25. VII. 1981; 1♀, 14. IX. 1981

ヤナギ樹幹上、ミズナラ生木のノコギリ傷の中に入り込んでいるものもあった。

10. *Aegus laevicollis subnitidus* WATERHOUSE

ネブトクワガタ

1♂, 29. VII. 1978

1978・1979年共に同じブナの木の樹液に♀♂数個体が来ているのを観察している。

岡山県では平地～低山地で得られており高鉢山は本種にとってかなり標高の高い産地のようである。(採集地 alt.800m)

11. *Aesalus asiaticus* LEWIS マダラクワガタ

1ex., 24. VI. 1979 山下晶採集

1ex., 7. VI. 1981 伐採木下面より採集

(〒700 岡山市幸町9-9)

高鉢山（鳥取県）のカミキリムシ追加報告V

山 地 治

1976年以来、那須敏氏と共に報告を続けてきた高鉢山のカミキリムシについて、今回は2種の追加を報告する。

竹内幸夫、福田元信両氏によって高鉢山の存在が知られて以来、カミキリを初めとした甲虫の種類数と個体数の多さに驚き、又採集行の度に増える追加種に、我々の近くにも当時の屋久島や湯ノ花のような好採集地のあったことを喜び、比較的平凡と思っていた中国山地の昆虫相が意外に奥の深いことを知った。その高鉢山もここ2~3年は採集に訪問しても思うような成果が上がらなくなってきた。伐採による食材性昆虫の一時的大発生から、伐採が終わり、林道周辺の環境変化に伴って各種昆虫が次々と栄枯し、ようやく近年の定常状態に入ったのであろう。カミキリ相の酷似している兵庫県の赤西渓谷からは、高鉢山で未記録の種が幾種も採集されているが、それらも含めて、山頂までを覆った原生林にはまだまだ未知の種が潜んでいるに違いない。今後も適時発表はして行きたいが、一連の報告は今回をもって終わりとしたい。今回の報告に当って、快く協力いただいた黒田祐次、滑田保生、渡辺昭彦の各氏及び今まで御協力くださった方々（特に前回までの共著者である那須敏氏）には、改めて厚く感謝申し上げる。

（注）学名の前の番号は前報からの続きとした。

高鉢山産カミキリムシ目録—追加報告V

192. *Chelidonium quadricolle* BATES アオカミキリ

1♀, 7. VII. 1982 山地採集

林道上で広島のカミキリ屋と話をしていると、緑色の昆虫が飛んで来て道端の草に止まった。バッタと思つてしばらくそのまま話を続けていたが、気になつて近づいてみると初記録のアオカミキリであった。

193. *Rhodopina integrifennis* (BATES)

マルバネコブヒゲカミキリ

1♂, 28. VII. 1980 滑田保生採集

夜間、灯火採集中に材上にいたものを採集

1♂, 11. VII. 1981 渡辺昭彦採集

近くでは岡山県那岐山、兵庫県扇ノ山の記録があるが中国地方ではかなり稀な種のようである。

新 知 見

12. *Pidonia (Crytopidona) dealbata* KUBOKI

ウスヨコモン（シラユキ）ヒメハナカミキリ
初報に於いて *p. sp.* として報告した種であるが、窪木幹氏により高鉢山を原産地とする上記学名の新種として発表された。近年は他の *Pidonia* と共に個体数が減つてしまい、なかなかお目にかかれなくなってしまった。

132. *Pareutetrapha eximia* (BATES)

フチグロヤツボシカミキリ
V. 1977 (ホオノキ枯枝採取) → 22. V. 1977 羽化脱出
1♂, 14. VI. 1980; 1♀, 28. VI. 1980 山地採集
ホオノキの葉表に止まっていることが多い。

139. *Oberea nigritiventris* BATES

ホソツツリンクカミキリ
1♀, 9. VII. 1979 渡辺昭彦採集
初報で記録した種であるが、同年他にも数個体が採集されたようである。

148. *Necydalis solida* (BATES) オオホソコバネカミキリ

1♀, 28. VII. 1979; 1♀, 14. VIII. 1980
1♂ 1♀, 5. VII. 1981 いずれも筆者採集
他にもいくらか採集されているが、ブナ立枯れに飛来したものが多い。

159. *Stenhomalus lighti* GRESSIT

トワダムモンメダカカミキリ
1♂ 2♀, 10. VI. 1979 渡辺採集
ウリノキ葉上にいたものを採集したが木の上に咲いていたゴトウヅル等に来ていたものかも知れない。
30. III. 1983 (材採取) → 2 exs, 10. VII. 1983; 1 ex, 19. VII. 1983 (羽化脱出) 竹内幸夫採集

材の種ははっきりしないが6月に野外で得られる本種が8月に羽脱したのは、室内のため羽脱時期が狂つたのだろう。

167. *Dolichoprosopus yokoyamai* (GRESSIT)

ヨコヤマヒゲナガカミキリ
1♂ (死個体), 14. IX. 1981 山地採集
「臥牛」でも触れておいたが、ブナ (生木) の幹にしがみついたまま死んでいた個体を採集した。高鉢山

では他にもう2個体採集されており、目撃も含めて林道奥の1本のブナ大木の周囲でのみ得られている。

169. *Enoplocleres bicolor* OHBAYASHI

ヒラヤマコブハナカミキリ

1♂, 9. V. 1979 渡辺採集

同山2頭目の記録であるが、今回も林道最奥地点で飛行していたものを採集している。

189. *Glenea centroguttata* FAIRMAIRE

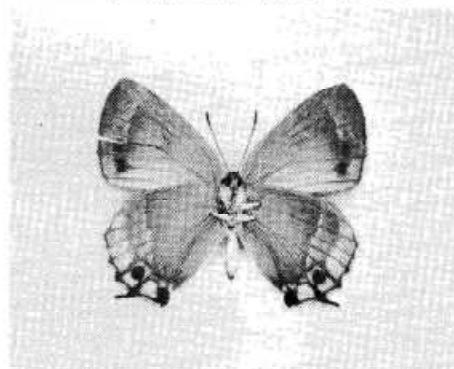
ホドシムシ

ミドリシジミ異常型の記録

織田 明文

1983年7月2日、真庭郡中和村別所でミドリシジミ♂の斑紋異常個体を採集しているので報告しておく。

この個体は、写真に示すように前後翅裏面の白帯がわずかに痕跡をとどめる程度にまで退化している他、後翅裏面亜外縁の波状白帯が外方に流れて、肛角部橙赤斑の一部も含めて淡く白化したものである。また、通常現れる外縁に沿う白帯は消失している。



(〒701-12 岡山市佐山2105-9)

賀陽町上竹におけるゼフ数種

渡辺 和夫

県道賀陽巨瀬線沿いのナラガシワを主体とする雑木林から得られたゼフ数種について報告する。

採集者は中村具見〔N〕、尾関啓吉〔O〕の両氏と筆者〔W〕の3人、採集地は上房郡賀陽町上竹(320m)である。両氏の御協力に厚くお礼申し上げる。

1 ウラミスジシジミ

1♂, 12. VI. 1982 [W]

1♀, 20. VI. 1982 [W]

7卵, 13. I. 1983 [O]

1卵, 4. II. 1984 [W]

12卵, 1. III. 1984 [O]

從来新見市草間を中心とした高梁川流域と中国山地

イッキキモンカミキリ

1♂, 21. VII. 1982 福田元信採集

追加報告IVで食樹をクワと書いたが、その後ウルシ科の植物がhostと判明した。同山にもヌルデ等は多く自生している。林道脇のクワノキには本種の後食跡が多数見られた。

(〒700 岡山市幸町9-9)

沿いの一部からの記録が多く¹⁾、近辺の記録として賀陽町神子山(520m)²⁾がある。

2 ミズイロオナガシジミ

2卵, 11. III. 1984 [W]

3 ウスイロオナガシジミ

1ex 17. VI. 1978 [N]

3卵, 1. III. 1984 [O]

4卵, 11. III. 1984 [W]

4 ウラジロミドリシジミ

1♂ 1♀, 17. VI. 1978 [N]

2♂, 12. VI. 1982 [W]

1卵, 4. II. 1984 [W]

5 オオミドリシジミ

1♀, 17. VI. 1978 [N]

6 ヒロオビミドリシジミ

2♂ 2♀, 17. VI. 1978 [N]

2♂, 14. VI. 1980 [W]

4♂ 1♀, 12. VI. 1982 [W]

1♂, 20. VI. 1982 [W]

7♂, 9. VI. 1983 [O]

12卵, 4. II. 1984 [W]

1卵, 1. III. 1984 [O]

4卵, 11. III. 1984 [W]

参考文献

1) 倉敷昆虫同好会(1972)岡山県の蝶。すずむし,(108):20

2) 難波圭吾(1980)ダイセンシジミを賀陽町で採集す。すずむし,(117):17

(〒719-11 総社市三輪203)

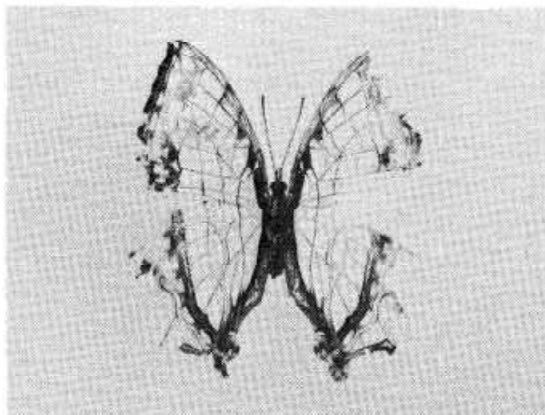
イシガケチョウ越冬個体の採集例

中村 具見

イシガケチョウは、最近、瀬戸内沿岸地域を中心に採集例が増えているが、その殆んどは7月以降に記録されたものである。筆者は、下記のとおり内陸部の哲多町において、越冬個体と思われる本種を採集しているので報告しておく。

1♀, 阿智郡哲多町矢戸川上, 3. V. 1983

溪流に面した日当たりのよい疎林でウスバシロチョウを探していたところ、一見してそれとわかる独特の飛び方をする本種を発見し、採集したものである。個体は大破汚損した秋型♀であった。



(〒719-11 総社市真壁1048)

総社市におけるムラサキツバメの新産地

中村 具見

ムラサキツバメは、近年、県南の低山帯で何か所かの新産地が報告されているが、総社市においては、これまで県下最初の発見地である豪渓以外の地域からは記録されていないようである。筆者は、市の東北部にある鬼の城山山麓で、下記のとおり採集することができたので報告しておく。

3令幼虫 2exs, 総社市奥坂阿弥陀原 23. IX. 1982

山麓の溪流に沿って本種の食樹であるシリブカガシが点在していたので、幼虫を探したところ、わずか2頭ではあるが発見できた。いずれもシリブカガシの新芽から得たもので、1頭は林縁から少し入ったやや薄暗いところにある、地上約20cmくらいのひこ生えから、またもう1頭は、別の場所の道路に面した、日当たりのよい高さ4mくらいのシリブカガシ頂芽から発見したもので、幼虫のいた場所は対照的であった。

(〒719-11 総社市真壁1048)

ウラナミジャノメ第2化の記録

中村 具見

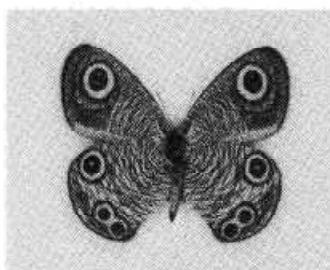
県下のウラナミジャノメ第2化は、これまで織田(1982)が報告しているだけであり、かなり少ないものと思われる。筆者も、昨年初めて第2化個体を採集することができたので記録しておく。

1♀, 井原市飯頭(道祖渓), 21. VII. 1983

景勝地として知られる道祖渓入口付近の雑木林の林縁で発見したもので、羽化直後の極めて新鮮な個体であった。また、この個体は開張33ミリと県南他地域の第1化個体に比べてやや小型である。

岡山県における本種の化性は、通常年1化で部分的に2化を生ずるものと考えられるが、県南の低山丘陵地帯で第1化が多数見られる地域でも第2化は全く発見されない場合が多いのに対して、第2化の得られた地域での第1化の個体数はそれほど多いとはいせず、未確認の食草も含めてその生活史には不明な点が多い。

なお、県下では、近年生息地がやや狭められていく



傾向があるようで、以前分布していた地域でも現在は見られなくなったところが少なくない。

参考文献

織田明文 (1982) ウラナミジャノメの2化を採集

すずむし (118) : 49

(〒719-11 総社市真壁1048)

ヒメウラナミジャノメ交尾行動の一観察

安井 茂夫

1983年5月2日午後4時頃、岡山市四御神の自宅の庭でヒメウラナミジャノメの♀が♂を追飛しているのを見つけた。♀は翅をとじて横にベタッと倒れて交尾を拒否した。一方、♂の方はごく近くでこの♀を見ていたが、♀に気をとらっていたためか、手で簡単につまむことができた。同じ場所で午後6時頃交尾しているペアーを目撲した。

(〒703 岡山市四御神553-2)

カラスシジミを草間で採集

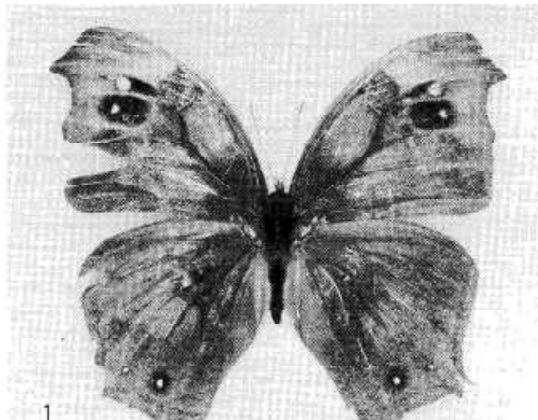
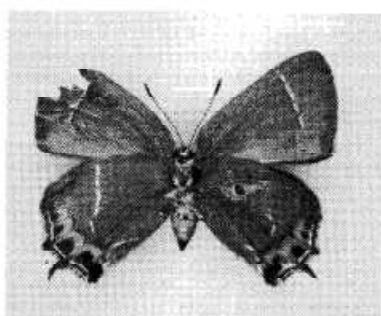
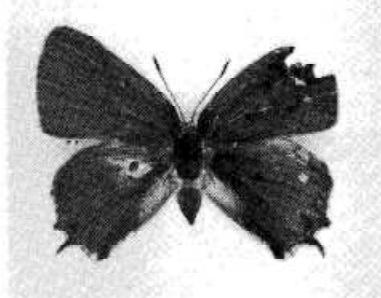
渡辺 和夫

県下では比較的珍しいカラスシジミを下記のとおり採集しているので報告する。

1♀, 新見市草間切畑 (380m), 12. VI. 1982

ナラガシワから飛び出したものだが、草間では3例目の記録と思われる。^[12]

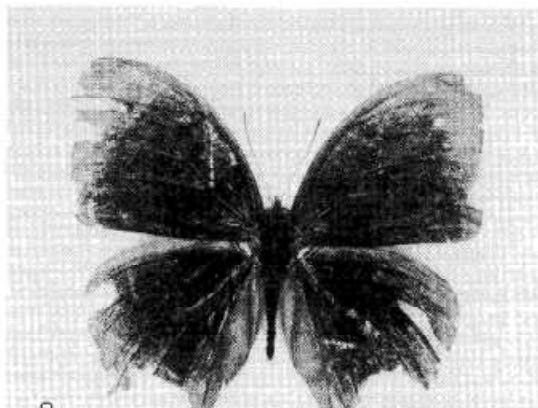
なお、この個体は後翅裏面肛角部付近のW字状白帯が一部消失しており、また、左後翅裏面中央部の白帯は全体に発達が悪く、逆に外縁の細い白帯は一部内側に拡大しているなど、軽微な斑紋異常が認められる。



1

1♀, 新見市草間切畑 VII. 15, 1982 [写真1]

ナラガシワ、アベマキを中心とする落葉広葉樹林内の下草から、クロヒカゲモドキ、サトキマダラヒカゲ等に混じって飛び出したものである。この個体は生かしたまま持帰り、強制産卵を試みたため写真ではやや破損しているが、採集時は比較的新鮮であった。なお、約40卵をジュズダマどススキに産卵したが、これらの卵はすべて無精卵であったようで全く孵化しなかった。



2

1♂, 岡山市長野 (竜王山東麓鳴谷渓)

IX. 23, 1982 [写真2]

溪谷沿のシリブカガシの多い常緑広葉樹林の中を歩いていたところ足元から飛び出したもので、かなり汚損した夏型個体であった。

(〒719-11 総社市真壁1048)

参考文献

- 1) 斎藤稼己 (1983) 岡山県吉備高原におけるカラスシジミの記録. 月刊むし, (154) : 18
- 2) 山木正志 (1983) 新見市とその周辺のチョウ相すかしば, (20) : 38
(〒719-11 総社市三輪203)

クロコノマチョウの採集記録

中村 具見

クロコノマチョウは、本州、四国、九州に分布する暖地性のチョウであるが、岡山県下ではこれまで散発的な採集例がいくつかあるにすぎない。筆者も、今まで県内で本種を採集したことはなかったが、1982年には偶然2頭を得ることができたので報告しておく。

ウスイロコノマチョウを笠岡市で採集

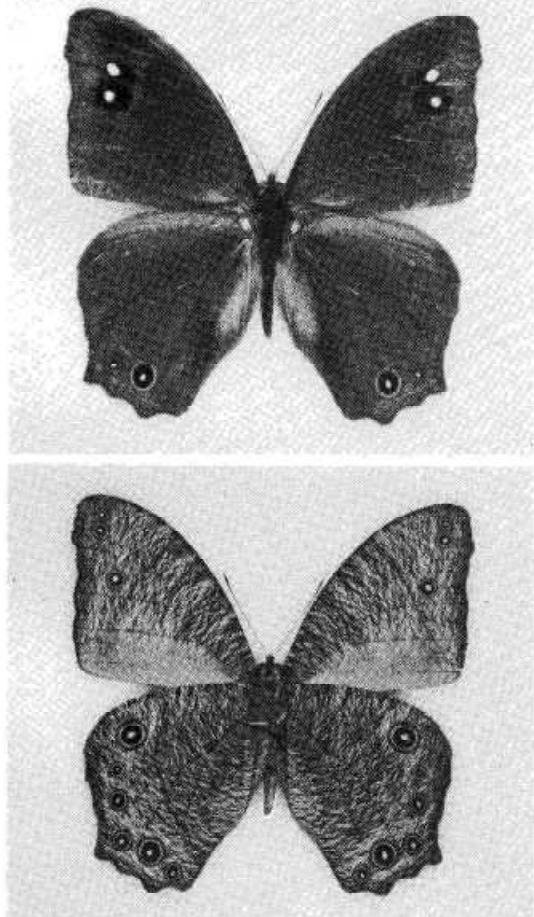
近藤 要一

ウスイロコノマチョウの県下の記録は、倉敷市¹⁾、津山市¹⁾、新見市²⁾、総社市³⁾などがあるが、今回、笠岡市においても採集することができたので報告する。

笠岡市神島寺間、1♀, Aug. 11, 1983

採集場所は、神島北西側の海岸べりにある筆者の勤務する大本組事務所内で、午後6時ごろ作業現場より帰ってきたところ、窓ガラスのそばでバタバタしていたのを採集したものである。この個体は非常に新鮮であったので、近辺に発生地がないかと、2、3日探し回ったが、追加記録することはできなかった。

なお、写真撮影を快諾された織田明文氏に深謝する。



参考文献

- 1) 倉敷昆虫同好会 (1972) 岡山県の蝶、すずむし (108) : 49
- 2) 渡辺毅 (1973) ウスイロコノマチョウを採集、すずむし (110) : 21

3) 中村具見 (1980) 総社市でウスイロコノマチョウを採集、すずむし (117) : 20
(〒719-11 総社市小寺876)

ミスジチョウの新産地

渡辺 和夫

ミスジチョウは岡山県では少い種であるが、新産地として川上郡内の記録を報告する。

採集者は筆者 [W] と中村具見 [N] である。

1 備中町

上布瀬 (240m), 2♀, 6. VI. 1982 [W]
西山 (230m), 1♀, 29. V. 1983 [N]

2 川上町

穴門山神社 (430m), 1♀, 6. VI. 1982 [W]
横松 (300~320m), 2♂, 29. V. 1983 [N]

なお、心よく発表を同意してくださった中村氏に深く感謝する。

(〒719-11 総社市三輪203)

モンキアゲハの飼育と越冬について

岡田 耕一

1979年8月26日笠岡市内のウンシュウミカンからモンキアゲハの卵を1卵採集した。

この卵は8月27日孵化、終令幼虫は9月16日には60mmとなり、9月19日蛹化した。この蛹は褐色であった。岡山市内の自宅で屋外に出しておいたところ、1980年5月12日羽化した。幼虫期23日、蛹期236日であった。

1980年7月27日笠岡市内のウンシュウミカンから4卵を採集、葉裏に3卵、葉表に1卵産卵されていた。7月29日3卵孵化、7月31日1卵孵化。7月29日に孵化した3exs.の幼虫の内1ex.は8月29日前蛹となり、8月30日蛹となった。7月31日に孵化したものは8月29日蛹化した。どちらも褐色型であった。この2exs.の蛹を11月1日から岡山市内で屋外に放置しておいたところ、前者は1981年5月4日、後者は5月6日羽化した。

また、1980年8月25日には岡山市東古松のハッサクから中令幼虫を2exs.採集し、屋外で羽化させている。

1981年8月23日笠岡市内でモンキアゲハがウンシュウミカンの新芽に1卵産卵するのを目撃した。この卵は8月27日孵化した。卵期は4日であった。

このように笠岡市内ではモンキアゲハはウンシュウミカンを食樹としている。また、岡山市内でその蛹を屋外で越冬させることができた。

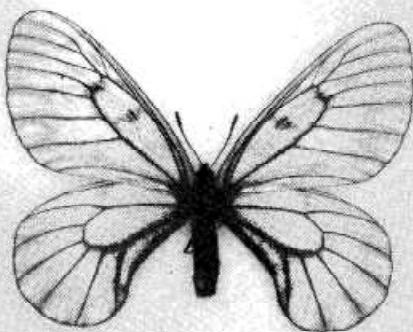
(〒700 岡山市奥田本町13-8)

ウスバシロチョウ♀の白化個体

渡辺 和夫

県内産ウスバシロチョウの分布及び変異については現在調査を進めているところであるが、そのデータ収集の段階で得られた♀の白化個体1例について報告しておく。

1♀, 真庭郡久世町余野下 (240m), 16. V. 1982
ウスバシロチョウは一般に地理的変異、個体的変異の著しい種であり、表日本側、特に四国産の個体は白化する傾向があるようだ。^{1,2)}岡山県では、変異についての調査も十分ではないので早急な結論は出せないであろうが、この個体は、後翅内縁に沿う第1室が著しく白化するなど、全体に♀としては特筆すべきほど白化した個体と思われる。



参考文献

- 1) 日本鱗翅学会四国支部 (1979) 四国の蝶
- 2) 藤岡知夫 (1981) 日本産蝶類大図鑑
(〒719-11 総社市三輪203)

クロツバメシジミの採集例

門田 亨

岡山県内にはクロツバメシジミの記録は多く、沿岸、内陸ともに広く分布しているが、東北部と南西部に分布の空白地帯がある。筆者は芳井町内で本種の産地を発見し成虫を採集しているので報告しておく。

後月郡芳井町上鴨, 3♂, 1980-V-11.

石灰岩の岩場の一部に自生するツメレンゲに発生しており、多くの個体が見られた。

参考文献

- 藤岡知夫 (1975) 日本産蝶類大図鑑
倉敷昆虫館 (1978) 岡山県の昆虫
(〒726 広島県府中市元町496-3)

食草園で発生したチョウ

安井 茂夫

昨年、一昨年の2年間に我家(岡山市西御神)のチョウの食草園で、カラスアゲハ、ウラゴマダラシジミ、ウラジロミドリシジミの発生を確認することができたので報告しておく。これらのチョウの近傍での採集状況、我家の地理的位置からみて(図1)、平常あまり飛ばないと思われている♀の飛翔距離が意外に長いのが注目される。

1. カラスアゲハ

終令幼虫4exs, 20. VI. 1983

樹高3mのカラタチの古木で発見し、翌21日に3頭を飼育箱(屋外)に移したが、ビニール製の網戸のアミを通じて寄生蜂3匹が入りこんでいたため、室内へ箱ごと移動させた。6月23日、25日、26日にそれぞれ蛹化し、7月8日に2♀が羽化したが、最初に蛹化した個体は寄生蜂に冒されていた。

2. ウラゴマダラシジミ

幼虫4exs, 22. IV. 1982 イボタの小木より

4月29日にすべて寄生されていることが判った。

3. ウラジロミドリシジミ

1♂, 30. V. 1982



図1 龍之口山系におけるウラゴマダラシジミとウラジロドリシジミの記録地

山地採集。

ヤマウルシ花上。兵庫県側からは記録されているが鳥取県側の記録として報告しておく。扇ノ山～氷ノ山が今のところ本種の西限であろう。

2. *Eupromus ruber* (DALMAN) ホシベニカミキリ

八頭郡郡家町大門 1♀, 26. VI. 1982 山地採集

鳥取県の海岸沿いには多数生息しているが、かなり内陸部なので報告しておく。採集地点のタブノキは枝先の葉が所々赤枯れしていく遠くからでもよく目立つた。

3. *Pogonocherus fasciculatus pullus* MATSUSHITA

ヒメシラオビカミキリ

岩美郡浦富海岸 1ex. 30. III. 1981

難波通孝採集 那須敏保管

木の1本も無い砂浜に落ちていた貝の中に潜んでいたそうである。風で吹き飛ばされて何もかくれる所のない砂浜のこと、しかたなく貝がらにもぐり込んだのであろう。

4. *Pareutetrapha eximia* (BATES)

フチグロヤツボシカミキリ

八頭郡扇ノ山 1♀, 26. VI. 1982 山地採集。ホオノキ葉裏より採集。

兵庫県境付近に生えていたホオノキの大木のほとんどの葉に多数の後食跡があったが、止まっていたのは1頭だけだった。

(〒700 岡山市幸町9-9)

トビナナフシ岡山県北部に分布

重井 博・近藤光宏

1981年8月16日、若田郡上齋原村岡山県立森林公園において、まず本会の青野孝昭氏によるニンフ2個体の記録が、岡山県における最初の記録のようである。そして、あいついで、同森林公園から筆者等によっても記録され、本種の生息が確認された。その後、新庄村、大佐町、新見市などからも点々と記録されるようになり、県北部に広く分布していることが明らかになった。

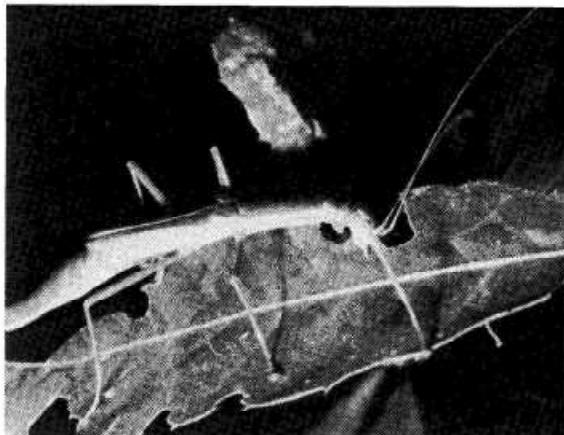
県下のナナフシ目の既知種は、ナナフシ、エダナナフシの2種（いずれも県下に広く分布）であったが、トビナナフシを加えて3種になったことの意義は大きい。

トビナナフシの同定については、近縁種にヤスマツトビナナフシがあり、注意を要する。

そこで、採卵のうえ、卵の形態によって本種であることを確かめた。飼育にあたっては、はじめミズナラを与えていたが、アペマキ（写真参照）に切り替えて

も、あい変わらず産卵を続けて、約1ヶ月間に55卵を産卵させることができた。

トビナナフシを記録した時の生息地の様子は、森林公園では、ミズナラ林をビーティングやスイーピングして得られ、また、ミズナラ林の林床植物の葉上で目撃された個体もある。大佐町および新見市桑平峰でもミズナラから記録された。しかし、新見市茗荷峰ではクリから記録されている。新庄村土用では、ミズナラ林の林縁を流れる集水溝において、溺死状の2個体を採取した。以上から判断すると、岡山県下におけるトビナナフシの生息環境の一応の目安としてミズナラをあげることができよう。

*Micadina phluctaenoides* REHN トビナナフシ

森林公園, 2♀(ニンフ), 1981. VII. 16, 青野孝昭採集

♂ 1♀, 1981. VII. 23, 重井博採集

♂ 2♀, 1981. VIII. 30, ♂

♂ 3♀, 1981. IX. 6, ♂

♂ 2♀, 1981. IX. 6, 近藤光宏採集

(飼育採卵)

♂ 4♀, 1981. IX. 13, 重井博採集

新庄村土用, 2♀(死骸), 1983. IX. 4, 近藤光宏採集

大佐町君山, 3♀, 1983. IX. 11, 重井博採集

新見市茗荷峰, 2♀, 1983. IX. 15, ♂

新見市桑平峰, 3♀, 1983. IX. 15, ♂

(重井: 〒710 倉敷市美和二丁目11-18)

(近藤: 〒710 倉敷市中央二丁目16-14)

ヤマトマダラバッタを沙美の海岸で!!

近藤 光宏

本種を最初に記録したのは三宅宗夫氏である。岡山県初記録と思われる。写真は昭和58年10月10日筆者撮影によるもので、マクロレンズによる接近はいさきか骨が折れ、再三挑戦してやっと一枚。体は周囲の砂に溶け込むような見事な保護色をしており、うっかりすると見失ってしまうほどである。

学研中高生図鑑III (1975)によれば「体は黄褐色で暗褐色の細かい点を散布する。マダラバッタと同様に海岸の砂地にすみ、昼に活発にとびまわる。マダラバッタとはお互いに場所を分けてすみ、同じ地域に混ざり合うことはめったにない。体長(翅端まで)37mm内外。本州、四国、九州に分布する。」とある。

その日、沙美ではマダラバッタは目撃されなかつたが、クルマバッタモドキが多数確認され、本種とは、はっきりとしたすみ分けがみられた。

なお、近年、沙美の浜にみられるような自然の砂浜は減少しつつあり、貴重な存在である。こうした砂浜を生息地とする本種は、いわば自然度のパロメーターとしての意味もあるように思われ、

県下の他の砂浜における生息調査が急がれる。

Aiolopus japonicus SHIRAKI ヤマトマダラバッタ
倉敷市玉島黒崎 (沙美海水浴場), 1♂ 1♀,
Sep.23, 1983, 三宅宗夫採集 (倉敷市立自然史博物館展示所蔵)
倉敷市玉島黒崎 (沙美海水浴場), 5♂
Oct.10, 1983, 筆者採集 (一部倉敷市立自然史博物館展示所蔵)



(〒710 倉敷市中央二丁目16-14)

投稿規定

1. 報文の原稿は次のような体裁にする。
 - (1) 用紙は400字詰横書原稿用紙を用いる。
 - (2) 記述は表題、著者名、現住所、本文、要約、文献の順序とする。
 - (3) 動植物の和名は片かなで書き、学名は *Papilio xuthus LINNE* のように下線で引く。
 - (4) データの記載は次のように略記する。
2♂, 1♀, Aug. 26, 1966または2♂, 1♀,
26.VII.1966など
 - (5) 読点は(., : " ")などを用い、句読点及びカッコは1マスに1つ、数字や英字は1マスに2字ずつ書く。
 - (6) 文献は本文に引用したものに限り、著者名のアルファベット順に並べて下記のような形式で記す。
大野正男 (1966) 広島県のハムシ相. すずむし,
16(1): 1-11
MOTSCHULSKY, V. (1865) Homopteres in insects. Etud. Ent. 8: 25 - 118
 2. 報文は簡潔に記すこと、原稿は返却しない。
 3. 別刷は著者の負担で調製できる。原稿1頁欄外に必ず

要部数を朱書きすること。

4. 原稿の送付は下記宛とする。

〒710 岡山県倉敷市幸町 重井病院内
倉敷昆虫同好会

出版物分譲案内

- ・岡山県の昆虫 (1978) B5, 146pp, 会員1,200円, 一般1,500円, 送料250円
- ・すずむしバックナンバー

16 (2, 3, 4合併号)	1,000円 (〒200円)
17 (1, 2)	各500円 (〒170円)
18 (1, 2)	各500円 (〒170円)
19 (1, 2合併号)	1,000円 (〒170円)
106号	600円 (〒170円)
107号	400円 (〒120円)
108~117号	各1,000円 (〒170円)
	だし110, 114号は〒200円)
118号	1,500円 (〒200円)
- 申込みは送料をそえて、前金 (現金、振替、小為替) で本会事務所へ。

----- 目

岡山県におけるキマダラヒカゲ属の分布資料	織田明文	1
岡山県のカミキリムシ数種の記録	山地 治	9
吉備高原地域西北部のメスアカミドリシジミ	中村具見	10
黒岩高原7月のチョウ	近藤要一	12
岡山県のコメツキムシ追録Ⅰ	渡辺昭彦	13
高鉢山(鳥取県)のクワガタムシ	山地 治	14
高鉢山(鳥取県)のカミキリムシ追加報告V	山地 治	15
—おとしふみ—		
ミドリシジミ異常型の記録	織田明文	16
賀陽町上竹におけるゼフ数種	渡辺和夫	16
イシガケチョウ越冬個体の採集例	中村具見	17
総社市におけるムラサキツバメの新産地	中村具見	17
ウラナミジャノメ第2化の記録	中村具見	17
ヒメウラナミジャノメ交尾行動の一観察	安井茂夫	17

次 -----

カラスシジミを草間で採集	渡辺和夫	18
クロコノマチョウの採集記録	中村具見	18
ウスイロコノマチョウを笠岡市で採集	近藤要一	19
ミズジチョウの新産地	渡辺和夫	19
モンキアゲハの飼育と越冬について	岡田耕一	19
ウスバシロチョウ♀の白化個体	渡辺和夫	20
クロツバメシジミの採集例	門田 亨	20
食草園で発生したチョウ	安井茂夫	20
フサヒゲルリカミキリ岡山県に産す	近藤要一	21
アゲハチョウ科の蛹の緑色型と褐色型について	岡田耕一	21
岡山県のセアカオサムシ	山地 治	21
鳥取県のカミキリムシ数種(Ⅲ)	山地 治	21
トビナナフシ岡山県北部に分布	重井 博・近藤光宏	22
ヤマトマダラバッタを沙美の海岸で!	近藤光宏	23

医療法人 重井病院

倉敷市幸町 ☎ 0864 (22) 3655

編集後記

約2年もの間、すずむしの発行がストップし会員の皆様には、大変、御心配をおかけしたことを深くお詫びいたします。一時は原稿も集まらず、加えて幹事がそれ多忙を極めて、打合せずら思うにまかせず、いつ発行できるかわからないという状況にありましたが、多くの会員の方々の御協力を得て、何とか新しいスタイルのすずむしをお届けすることができました。

本号から幹事会で決定したように、体裁をかっての100号以前のようにB5版に戻し、タイトルの文字も会員山崎司郎氏のデザインを使わせていただきました。なるべく写真を多くとり入れて見て楽しいものにしようと努力しました。皆様の御意見をお聞かせください。

今後も地域の昆虫相の解明を主眼とするところは今までと変わりませんので、岡山の昆虫に関する知見はもちろんのこと広く調査活動の成果を積極的にお寄せくださるようお願いします。(N)

すずむし 119号

1984年8月31日発行

発行者 倉敷昆虫同好会 (〒710 倉敷市幸町 倉敷昆虫館内)

振替口座 岡山 1-6927

印刷所 サンコー印刷株 (総社市真壁871-2)